

クワシロカイガラムシの発生状況と 防除方法について（第3世代）

令和元年9月13日
埼玉県茶業研究所

クワシロカイガラムシ（以下クワシロ）の産卵や幼虫の発生はほぼ平年並みの見込みです。次の方法により、茶園の防除を適切に行ってください。

1 発生状況

9月13日現在、クワシロ雌成虫の産卵率は100%に達しており、一部で幼虫が定着しており、歩行幼虫が発生し始めているところもあります。

2 積算温度による推定

今年の夏の高温の影響で、積算温度からの推定と切り枝調査の結果が異なっています。ちなみに青梅アメダスデータによる推定防除適期は9月29～10月1日となっています。

9月13日現在の幼虫発生状況から、防除適期は早いところで9月21日～9月27日頃遅いところでは9月23日～30日と想定されます。第2世代の防除の有無によっても発生時期が変わるため地域による差がわかりにくくなっています。

なお、下記の日程で茶業研究所にて防除適期判定会を行いますので、クワシロが付いている枝を切って都合の良い時間にお持ちください。

防除適期判定会

日	時間	場所
9月20日（金）	午前9時～午後4時	茶業研究所農業革新支援担当 （1階奥）

3 防除方法

プルートMCを散布していないほ場については、アプロードエースフロアブルまたはコルト顆粒水和剤を防除基準に従って散布してください。これらは、天敵に影響の少ない農薬です。株内の枝に十分液がかかるように丁寧に実施してください。

プルートMCを散布したほ場についてもクワシロの発生について観察を行い、クワシロの発生を認めた時は防除を実施してください。

農薬を使用する際には、必ず使用農薬のラベルを確認しましょう

連絡先：埼玉県茶業研究所

農業革新支援担当 田中・酒井

TEL：04-2936-1351

このお知らせは下記のページでも確認できます。

☆JAいるま野ホームページ営農情報 <https://www.ja-irumano.or.jp/members.html>

☆（一社）埼玉県茶業協会 会員様用ページ（パスワードをお忘れの方は協会事務局まで）

<http://www.cnet-sc.ne.jp/sym-cha/index.html> ご活用ください。

※この通知は茶業研究所農業革新支援担当とJAいるま野が協力して作成し、お知らせしています。